Engineer データ

Stripe・アプリ内購入の利用権限を構築

StripeとApple・Googleのアプリ内購入に対応する決済・利用権限層を構築し、サーバーで検証する11テーブルのアクセスモデルによって、一覧、検索、エクスポートの利用を制御した。

2025

11

誰が何を見られるかを決めるテーブル

状況. 金銭は軽く扱えない。定期購入はカード期限切れ、返金、プラン変更、重複・順不同のWebhookに耐える必要があった。Webのカード決済とApple・Googleのアプリストアという3経路では、購入内容の記録も3通りになるが、製品には「今この人は何ができるか」という1つの答えが必要だった。

題. 購入経路を増やしても製品の全権限制御を書き直さずに済むよう、支払いの受け取りと権限付与を別システムにする必要があった。

動. 18個のGoファイルでStripeのカード・定期購入を扱い、Apple・Googleは各々の領収書検証を通す。3つを9テーブル・34関数のpaymentsスキーマへ集め、そこで止めた。製品は別の11テーブル・34関数のaccessスキーマへ問い合わせ、どこで払ったかを知らずに「このアカウントがこれをできるか」を答える。この答えで企業一覧、検索、データ出力を制御し、毎回サーバーで再検証する。ボタンを隠すのは配慮であって、制御ではないためだった。

果. 新しい購入経路は決済側だけに追加でき、権限制御は変えずに済む。アクセスに関する問い合わせは3つでなく1つのテーブルを見ればよい。小規模製品なら1つにしたい場所に2スキーマを持ち、従来不要だった権限検索をリクエストで行うことが代償となった。

この経験をお客様のプロジェクトに

「Stripe・アプリ内購入の利用権限を構築」を、お客様の組織の似た課題を考える出発点にしてください。この実績を支えたサービスを、お客様のプロジェクトにも提供できます。 実際の業務に合った構造を設計し、将来必要になる問いにも答えられるようにします。

サービスを見る お問い合わせ →

結果の背景を確かめる

この事例の状況、判断、結果をご覧ください。どの部分がお客様の制約の下でも生かせるか、どこに別の方法が必要かをご相談いただけます。 Stripe・アプリ内購入の利用権限を構築 — 11 誰が何を見られるかを決めるテーブル

サービスを見る お問い合わせ →

決済とアクセス段階を適切につくりたいですか？

納品を担当するエンジニアに、プロジェクトについてご相談ください。着手前に、業務範囲、価格の算定方法、引き継ぎ内容を書面で合意します。

担当した役割：バックエンドエンジニア。 関連する分野： バックエンド開発, API・システム連携, データベース, PostgreSQL, セキュリティ および プロダクト・要件. こちらのサービスも得意としています バックエンド・API開発, データベース設計・モデリング, セキュリティ・アクセス管理 および プロダクト戦略・要件定義.

お問い合わせ サービスを見る

より多くの実績の **一つです** — そのすべてをこのサイトで公開しています。

どの項目も、状況、課題、実施内容、変化という同じ構成で記載しています。

すべての実績を見る

必要な改善を定める

代表的なデータセット、そこから答えを得たい問い、現在のボトルネックをお知らせください。品質、処理量、復旧の測り方を合意できます。

料金を見る お問い合わせ →

決済とアクセス段階を適切につくりたいですか？

「Stripe・アプリ内購入の利用権限を構築」の判断の背景についてお尋ねください。仕事内容を説明し、お客様のプロジェクトを検討できる担当者が対応します。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://data.engineer.company/ja/portfolio/built-stripe-and-in-app-purchase-entitlements/